

下野市行政評価市民評価について

1 下野市における行政評価市民評価の目的

下野市における行政評価の市民評価は、市民協働の一環として事務事業評価に市民が参画することを目的としています。

市が一定の基準（対象事業の必要性、熟度・緊急性、効率性等）で評価した結果について、「市民感覚と乖離していないか、現状を肯定する甘い評価となっていないか」などの“市民の感覚、視点”に照らし合わせて妥当かどうかを評価するものです。

2 下野市における行政評価市民評価の特徴

下野市では、行政評価制度を予算、人員などの経営資源の配分、事業の取捨選択、優先度の設定などを行う際の重要なツールとして位置づけ、事業実施前に事務事業を評価し、事業の推進方針を決定しています。

行政評価市民評価では、庁内で決定した事業の推進方針の妥当性（3つのランク）について、評価プロセスの必要性、熟度・緊急性、効率性などの観点を加え、行政改革推進委員会において多数決により評価を決定しています。

事業推進方針の3つのランク

- ①積極的に推進する事業、計画どおり実施する事業
- ②事業内容を見直しながら実施する事業
- ③当面実施しない事業、廃止・休止する事業

3 市民評価の対象

市民評価の対象事業は、総合計画基本計画に計上した事業、事業費が大きい事業、一般財源が多額な事業、予算の伸びが顕著な事業などから、10事業を選定します。

- ① 総合計画基本計画に具体的に位置づけられている事業、その事業と明らかに直結的な事業
- ② 平成25年度の事業費（予算額）が原則500万円以上の事業
- ③ 法令等で義務付けられている事業や政策的な判断を伴わないなど、市としての裁量の余地が少ない事業は対象外

4 評価（ヒアリング）の視点

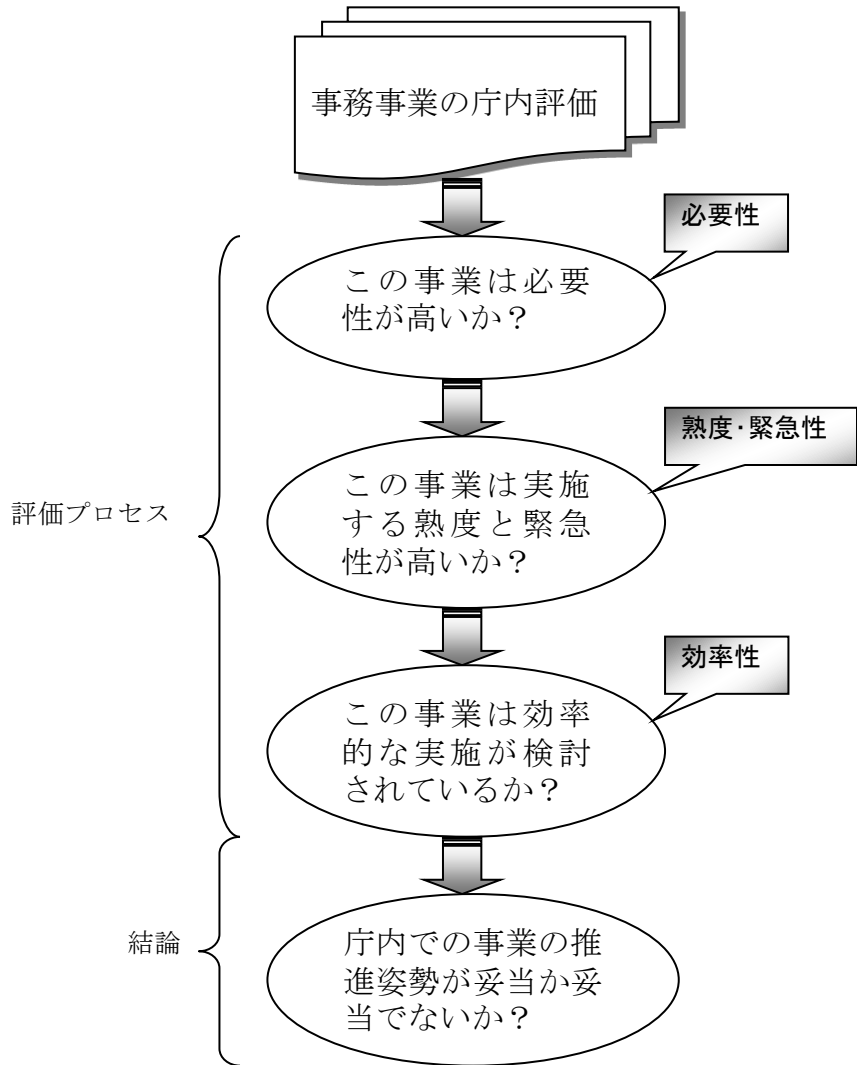
市が実施した内部評価（事業推進方針）の妥当性を評価するため、事業ヒアリングを実施し、庁内での評価プロセスである「必要性、熟度・緊急性、効率性」の「高い、低い」などの評価について1つずつ評価し、結論を導き出します。

- 必要性：① この事業は総合計画に明確に位置づけられていると言えるか。あるいは総合計画の基本方針や施策に合致していると言えるか。
- ② 多くの市民や地域社会から、この事業の実施が求められるような要請があると認められるか。

- 熟度・緊急性：① この事業を計画どおりに進める環境が整っていると言えるか。
- ② この事業を実施しなかった場合、市民の生活に急激かつ重大な影響を与えると言えるか。

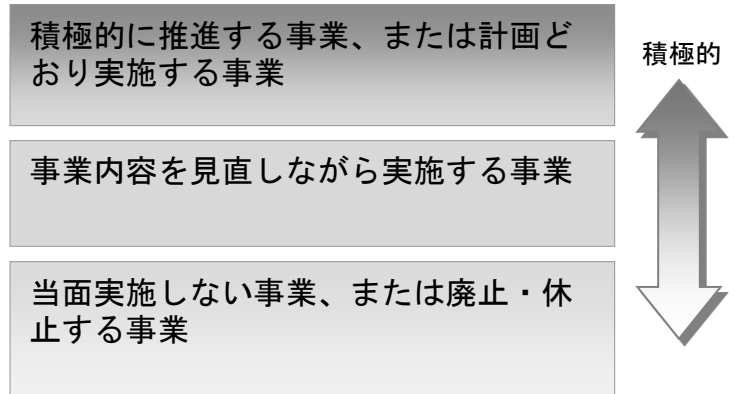
- 効率性（見直しの余地）：
- ① 受益対象者の規模が適正であるか検討していると言えるか。
- ② 他事業との統合や連携などの工夫ができないか検討されていると言えるか。
- ③ 民間に委託したほうが品質やコスト面で優れているか。また、民間事業者に委託できる環境があるかどうか検討していると言えるか。

《評価視点イメージ》



【事業の推進方針】

事業推進方針の3ランク



5 評価の方法

- ①行政評価市民評価ヒアリング資料に基づき、担当部・課長、総合政策課等とのヒアリングを実施します。
- ②委員は、評価プロセスに沿って、必要性、熟度・緊急性、効率性の観点から、庁内評価（推進方針）の妥当性を判断し、総合評価として4つの区分に分類します。
- ③ヒアリング及び委員評価実施後、委員による協議を行い、意見の集約を図った上で評価結果を取りまとめます。

《4つの区分》

区分	内容
I	妥当である。
II	おおむね妥当である。
III	やや妥当とは思われない。 (市評価が高すぎる。) (市評価が低すぎる。)
IV	妥当とは思われない。 (市評価が高すぎる。) (市評価が低すぎる。)

6 評価結果の取りまとめ

市民評価の結果について、報告書として取りまとめます。

◇ 報告書の構成 ◇

- 1 はじめに
- 2 評価の対象
- 3 評価の視点
- 4 評価結果
 - (1) 総括表
 - (2) 事務事業別
- 5 来年度以降の行政評価の運用改善に向けた意見

7 意見の反映

事務事業評価に対する意見は、市において翌年度以降の事業実施及び内部評価等に際し参考にするとともに、市民評価のプロセスで得た意見は、翌年度以降の行政評価の運用改善にもつなげることにしています。

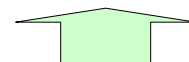
8 意見の公表

市民評価の結果について、市ホームページで公表します。

平成24年度 行政評価市民評価 ヒアリング資料

事務事業名		〇〇〇〇事業		所管部課	〇〇部	〇〇課
意 図						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 担当課長による説明 </div>						
事業概要						
必要性	総合計画での位置づけ				
	根拠法令等	章	節	施策
事業内容	事業種別	市単独事業	施設整備や基盤整備等の建設事業	設計や予備調査等、施設整備や基盤整備等の建設事業の準備段階で行われるもの		
	新規・継続				
熟度・緊急性	事業詳細手段	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> こちら側には、事務事業の実施内容が記載されていて、ヒアリング時には、担当課長等から、部の中での位置づけや事業の内容について説明いたします。 </div>				
効率性	市の関与のあり方				
	事業量・頻度				
効率性	総事業費(経費内訳)				
	年度別事業費	平成22年度 決算 (単位:千円)	平成23年度 決算見込 (単位:千円)	事務事業番号	

事業推進方針		〔〇〇〇〇事業 - ... - 〇〇課〕
○	積極的に推進する事業、または計画どおり実施する事業	
	事業内容を見直しながら実施する事業	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 総合政策課による説明 </div>	
	当面実施しない事業、または廃止・休止する事業	



事業推進方針判断に際しての3つの視点			
必要性	事務事業の必要性を判断する際には、当該事業が総合計画基本計画に明確に位置づけられているか、あるいは、この事業に対応した施策が明確に基本計画に記載されているか、また、総合計画基本計画の策定後に、当該事業の実施が求められるような社会経済情勢の変化があるかどうかを判断基準としています。	高い	<input type="checkbox"/>
		低い	<input type="checkbox"/>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> シートの2枚目には、1枚目の事務事業の実施内容から3つの視点(必要性、熟度・緊急性、効率性)による市の推進方針の判断内容が記載されます。 </div>			
熟度・緊急性	事務事業の熟度・緊急性を判断する際には、新規事業の場合は、着手・実施の見通しはあるか、事業進捗の阻害要因があるか、継続事業の場合は、現行レベルを継続するうえで事業進捗に相当な影響を及ぼす新たな障害がないか、また、事業を休止・縮小することが可能かどうかを判断基準としています。	高い	<input type="checkbox"/>
		低い	<input type="checkbox"/>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> ヒアリング時には、担当課評価・総合政策課評価・行政評価委員会評価・総合評価で差異がある場合、総合政策課から説明いたします。 </div>			
効率性	事務事業の効率性の判断にあたっては、民間委託の拡大を図っているか、類似業務との統合を進めているか、経費削減に向けた改善・工夫をおこなっているかなどを判断基準としています。	高い	<input type="checkbox"/>
		低い	<input type="checkbox"/>

平成24年度 行政評価市民評価 委員個別評価シート〔提出用〕

事務事業名	〇〇事業	所管部課	〇〇部	〇〇課
事業推進方針	…〔例：積極的に推進する事業、または計画どおり実施する事業〕			

委員記入欄

委員評価記入欄				
必要性	1	総合計画基本計画に明確な位置づけがありますか。	はい	<input type="checkbox"/>
			いいえ	<input type="checkbox"/>
	2	多くの市民や地域社会から要請がありますか。	はい	<input type="checkbox"/>
			いいえ	<input type="checkbox"/>
		⇒ この事業の必要性について、市の評価は妥当ですか。	妥当である	<input type="checkbox"/>
			妥当と思わない	<input type="checkbox"/>
熟度・緊急性	1	この事業が計画どおり進むような状況が整っていると言えますか。	はい	<input type="checkbox"/>
			いいえ	<input type="checkbox"/>
	2	この事業を実施しなかった場合の影響が大きいですか。	はい	<input type="checkbox"/>
			いいえ	<input type="checkbox"/>
		⇒ この事業の熟度・緊急性について、市の評価は妥当ですか。	妥当である	<input type="checkbox"/>
			妥当と思わない	<input type="checkbox"/>
効率性	1	受益対象者の規模が適正かどうか検討していると言えますか。	はい	<input type="checkbox"/>
			いいえ	<input type="checkbox"/>
	2	他の事業との統合や他部署との連携などが検討されていると言えますか。	はい	<input type="checkbox"/>
			いいえ	<input type="checkbox"/>
3	民間委託について、優位性と可能性が検討されていると言えますか。	はい	<input type="checkbox"/>	
		いいえ	<input type="checkbox"/>	
		⇒ この事業の効率性について、市の評価は妥当ですか。	妥当である	<input type="checkbox"/>
			妥当と思わない	<input type="checkbox"/>

ヒアリング内容や資料等から、「必要性、熟度・緊急性、効率性」の視点のそれぞれの項目にある『はい、いいえ』及び『妥当である、妥当と思わない』を選択し、チェック欄(☑)に記入してください。

また、事務事業に対する委員個別の評価を、「評価」のチェック欄(☑)及び「評価意見」に記入していただきます。

なお、右下の委員指名欄にお名前をお忘れなくご記入ください。

行政評価市民評価					
評価	上段の3つの視点からの妥当性を総合すると	I	推進方針は妥当である。	<input type="checkbox"/>	
		II	推進方針はおおむね妥当である。	<input type="checkbox"/>	
		III	やや妥当とは思われない。	市評価が高すぎるため、やや妥当とは思われない。	<input type="checkbox"/>
			やや妥当とは思われない。	市評価が低すぎるため、やや妥当とは思われない。	<input type="checkbox"/>
IV	妥当とは思われない。	市評価が高すぎるため、妥当とは思われない。	<input type="checkbox"/>		
		市評価が低すぎるため、妥当とは思われない。	<input type="checkbox"/>		
評価意見					
事務事業番号	…	委員氏名			